



ねぼうもちこも
あめがふるのも
おかの精(せい)



どうせなら
かたづけてくれ
トッチラカッパ



べんきょうは!?
したの?やったの?
ヤレヤレオババ

親子のための おばけのがっこう

妖怪かるたをつくろう

オリジナルの妖怪を考えて、切り絵でかるたを作ります。
最後はみんなでかるた大会です!

じかんわり

1. ようかいのお話
2. えふだをつくる
3. よみふだをつくる
4. かるた大会



日時 1

2017年9月10日 (日) 午前の部 (10:30-12:30)

日時 2

2017年9月10日 (日) 午後の部 (14:00-16:00)

※両日程にお申し込みいただくことも可能ですが、
同じ内容のワークショップになりますのでご注意ください。

会場

大田文化の森 4階 (第2集会室)

対象

年長～小学校低学年のお子様と保護者

定員

各回10組 (応募者多数の場合は抽選)

参加費

親子ペア1,500円 (絵札2枚、読み札2枚)

※子ども1名追加+500円

※妖怪新聞がもらえるよ!

※作ったかるたはお持ち帰りいただけます。

くらやみでひかるよ!



◆お申し込み方法は裏面をご参照ください。

◆「おばけのがっこう」とは

妖怪えほん作家いちよんごが主催する「妖怪かるた」を用いたワークショップです。子育てと家族をテーマに、妖怪の力を借りて、日々の「モヤモヤ」や「イライラ」をスッキリさせる目的でスタートしました。ことばあそびと切り絵ワークを通して、創造力や表現力をたのしむことも大切にしています。「おばけのがっこう」を一緒に盛り上げてくれるのは、子どもが大好きなワークショップのプロ集団「えんらえんら」。ぜひぜひあそびにきてね！

◆「妖怪えほん作家いちよんご」について

奈良県出身、大田区在住、二児の母（11歳と3歳の男の子）。子育てを機に、妖怪えほん・かるたを作り始める。小学校・保育園・児童館・百貨店などで妖怪かるた大会や妖怪ワークショップを開催しており、参加者はのべ2,200人にもものぼる。自身も年間100以上の妖怪を新たに生み出し、今年の1月には「妖怪かるた」のことが朝日新聞、東京新聞、読売新聞毎日新聞などで大きく紹介された。好きな妖怪は「がしゃどくろ」と「川男」。

◆申込み方法 ①または②で。 *応募締切 8月25日（金）必着

①大田文化の森運営協議会ホームページ

<http://www.bunmori-unkyo.jp/> のイベントカレンダーよりお申込みください。

※応募前に「@bunmori-unkyo.jp」からのメールが確実に受信できるようメール受信の各種設定を応募前に必ずご確認ください。

②往復はがき

往信おもて	返信うら	返信おもて	往信うら
青色の切手 〒143-0024 往信 大田区中央2-10-1 大田文化の森運営協議会 「親のための おばけのがっこう」係	※何も書かないでください	緑色の切手 返信 ※ご自身の ・郵便番号 ・住所 ・氏名 を記入してください	ご希望の日時 例：9/10 午前の部 ・保護者お名前（年齢） ・お子さまのお名前 （ふりがな明記ください） ・学年 ・ご住所 ・電話番号



【お問合せ】

平日9:00～17:00

（祝日・大田文化の森休館日を除く）

大田文化の森運営協議会

Tel 03-3772-0770 / Fax 03-3772-0704

<http://www.bunmori-unkyo.jp/>